



7月園だより

令和5年7月1日
目黒区大岡山保育園 園長

6月27日にプール開きが行われました。梅雨明けはまだですが、天気の変動が激しい今、梅雨の晴れ間を縫って、水遊びやプール遊びを楽しみ、雨の日には、ホールなどでそれぞれのクラスが、身体を動かす遊びを楽しんでいます。

先日の夏まつりでは今年幼児クラスに上がった3歳児クラスもお店屋さんになって大活躍していました。3歳児クラスは『のりもの屋さん』『アイスクリーム屋さん』をやることになりました。当日は交代で買い物に行くグループとお店をやるグループに分かれます。保育士が「買い物に行くお友達こっちに来てね」と声をかけると、1人の子が泣きだしました。理由を聞くとお店屋さんがやりたかったと言うのです。スタンプが貼られた買い物袋を手渡されても納得がいきません。保育士に「乗り物運転したいんだよね。最初は買い物だけど、終わったら運転できるよ」と気持ちをなぞってもらい、お兄さんの迎えが来たことで、気持ちが切り替えられ、そのあとは夢中になって買い物を楽しんでいました。のりもの屋さんでは子どもたちが準備した大好きなパトカーや、山手線、ドクターイエロー、消防車などが園庭に並んでいます。子どもたちは運転手帽子をかぶると凛々しい表情に変わります。電車だからといって思うがままにスピードを出すのではなく、慎重に安全運転をしてくれていて、3歳児クラスにも相手をもてなすという心が育っているのだと感動しました。



最後に、クラス懇談会にご出席いただきありがとうございました。仕事や子育てのご多忙の中、各ご家庭の工夫やお子さんとの触れ合いの時間の様子をお聞かせいただき、園としても参考になりました。今後もノートや対話を通して保護者の皆様と子育てを共有していきたいと思えます。

今月の予定

七夕集会

中旬

避難訓練

身体計測



8月の予定

プールじまい

中旬

避難訓練

身体計測



みんなで手作り、なつまつり



6月22日に夏祭りがありました。

4、5歳は異年齢で4グループに分かれてそれぞれのお店の準備を進めました。“忍者屋敷”のグループは準備の中で折り紙で手裏剣を折る活動がありました。5歳児クラスの子は折り方を知っていてどんどん折っていきますが、4歳児の子は「どうやるの?」と5歳児クラスの子に聞いています。最初は教えてあげたり、折ってあげたりしてあげていましたが、なかなか進まずにいと、「じゃあ、ここからやってあげるよ」と4歳児クラスの子が半分折り、その後を5歳児クラスの子が引き継ぐという形で進めていました。出来ることは違いますが、4、5歳で協力しながら準備を進めることが出来ました。「にんじゃやしきにはどんなしかけがあるのかな?」「くものすとか?」「あと、みずのうえをあるいたり!」とイメージしたことを話し合いながら、楽しそうに取り組んでいました。

他のグループも4、5歳で教えあったり協力し合って、準備のときから楽しんで進めていました。

いろいろな 感触遊び（乳児）



0歳児（いちご組）

園庭に慣れて安心して遊べるようになり、今では自分からハイハイして砂場へ入っていくようになりました。暑い日のこと、初めて裸足で庭へ行ってみると靴下をはいていた時より、裸足が気持ちいいようで土や泥の上をハイハイする姿が多くみられました。ある子は一人で立ち上がり「おー！」とアピールしています。靴下をはいていた時にはしなかったことです。また、2歳児が築山に上っているのを真似てハイハイで昇っていきました。土が手や足、お腹についても気にすることもなく、何度もハイハイで昇り降りてきて楽しんでいます。砂場では砂山にどっしりと座って休憩している子がいました。足は砂に隠れているので少し湿ってひんやりとした砂がとても気持ちいいようでした。

保育園の初めの1年間、人と触れ合う心地よさを感じると共に自然物に触れる気持ち良さや面白さもたくさん経験していきます。



1歳児（もも組）

もも組になって、初めて片栗粉を使った感触遊びをしました。保育士が持つ白い粉は、始めはサラサラしていたのに、水を入れると見たことのない形に変わっていきます。その様子を子どもたちは、眉間に皺を寄せてじっと見ていました。とろとろと保育士の指から垂れていく様子に“なんだろう…”と泣いてしまう子もいましたが、保育士がくり返し「とろとろ〜」と手に乗せ垂れていく様子を見せていると、先ほどまで泣いていた子が自分から手を伸ばしました。触れた瞬間にぱっと目を開いて保育士と目が合ったので「気持ちいいね」「とろとろ、面白いね」と声をかけるとにっこり笑い繰り返して遊んでいました。後日、食紅で色を付けたり、分量を変えて手触りを変えたりしてみると、今まではあまり触りにこなかったり泣いていたりした子も、洗面器に手を入れ遊ぶようになりました。時にはテラスで開放的に感触遊びをすることもありました。片栗粉がついた手で窓をペタペタ触ってみたり保育士の背中に手形をごしごしとつけてみたり、自分たちの顔や髪の毛にも飛び散らせながら、とてもダイナミックに遊んでいました。

いろいろな感触遊びを楽しむ中で、様々な手触りや温度などを味わい、子どもたちの興味や意欲を広げていきたいです。



2歳児（りんご組）

初夏のような暑い日差しの中、保育士がタライに水を入れると、子どもたちが嬉しそうに集まってきます。最初は水を触ったり、汲んだりして遊んでいましたが、そこに砂を入れて泥水にしたり、地面がぬかるんだところを手や足で触れたりしながら、保育士と一緒に感触を確かめて遊んでいます。

その姿を少し離れてみていた子がいました。保育士が「一緒にやる？」と聞くと、首を横に振るので「わかったよ」とうなずき様子を見ることにしました。水たまりにはいつの間にか子どもたちが4、5人集まり足踏みをし始め、顔を見合わせながら「キャー！」と歓声を上げています。水たまりの中は狭いのですが、どの子もニコニコでくっついていきます。すると今まで見ていた子も友達の楽しそうな姿を見てそーっと足を入れ始め「つめたいな」「ぺたぺただね」と言いながら気が付くと全身どろんこで遊んでいました。

これからも保育士や友達とさまざまな感触遊びを楽しみながら、ときには泥水をコーヒーにしたり、ケーキを作ったりするなど、イメージを膨らませながらの見立て遊びも楽しんでいきたいです。

